

## 株式会社リサイクルワン【認証】 申請内容（申請書からの転記）

登録の区分	認証
全般	申請者名（認証取得者名）株式会社リサイクルワン
	申請代理事業者
	事業者の主な事業内容 コンサルティング
	申請案件の要旨 株式会社リサイクルワンは、安心して心地よい社会の実現を追求するという自社の企業理念にのっとり、自らの環境負荷も最小化する必要があると考えています。自社の事業活動に伴う GHG 排出量を把握・削減し、削減しきれない排出について、発展途上国での GHG 排出削減事業や被災地復興支援にも繋がる GHG 排出削減事業等の支援を通じて、カーボンニュートラル企業となることとしました。この取組をより厳密なものとするべく、2011 年 10 月に BSI グループジャパン株式会社の認証の下、PAS2060 に従ったカーボンニュートラルを日本で初めて達成しました。さらに日本のカーボン・ニュートラル認証基準の改訂に資するために、カーボン・ニュートラル試行事業を通じてカーボン・ニュートラル認証取得と計画登録の両方を目指すこととしました。
	組織等の境界 法人単位
	活動の境界 【スコープ 1】 ・噴霧器の使用 【スコープ 2】 ・他人から供給された電気の使用 【スコープ 3】 ・（上流）原材料の製造 ・（上流）自社の事業活動からの廃棄物処理 ・（自社）営業活動・出張 ・（自社）雇用者の通勤
	算定対象範囲 スコープ 1、2 及びスコープ 3
	CN 対象期間 2010 年 6 月 1 日～2011 年 5 月 31 日
	CN 計画期間
	認証の有効期間 2012 年 3 月 23 日～2013 年 3 月 22 日
	認証ラベルの使用用途 PR 目的
排出量の認識	算定対象範囲における温室効果ガス排出源 電力の利用、紙、移動等
	算定方法 各種ガイドライン等を参照し算出
	基準年排出量 約 230 t-CO <sub>2</sub>
	対象期間排出量 約 235t-CO <sub>2</sub>
	（任意）スコープ 3 排出量の算定結果 算定している

排出削減	組織等の境界内における温室効果ガス排出削減の取組	省エネの推進等
	(任意)組織等の境界外における申請者(認証取得者)自身の排出削減の取組	
	(任意)スコープ3排出量の削減の取組	資料の電子化等
埋め合わせ	認証制度名	京都メカニズム、オフセット・クレジット制度
	クレジットの種類	CER、J-VER
	プロジェクト名(プロジェクト実施国・実施地域を含む)	<p>CER :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インド、Aleo Manali 3 MW 小規模水力発電プロジェクト</li> <li>・インド、タミルナドゥ Newsprint and Paper 社 6.75MW 風力発電プロジェクト</li> <li>・インド、SRGEL エネルギー源バイオマス発電プロジェクト</li> </ul> <p>J-VER :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・釜石地方森林組合による集約化施業(森林整備活動)を用いた温室効果ガス吸収事業</li> <li>・喜多方市森林整備加速化プロジェクト</li> </ul>
	プロジェクトタイプ	排出削減プロジェクト、及び森林吸収プロジェクト
	無効化日	CER、J-VER 共に 2011 年 9 月 29 日